世界の「AIOIYAMA」プロジェクト検討会議（第７回）

日　時：平成２８年１１月１５日
場　所：本庁舎２階 第１会議室

＜ 議 題 ＞

１　各作業部会の検討状況について　【資料１】

【資料２～７】

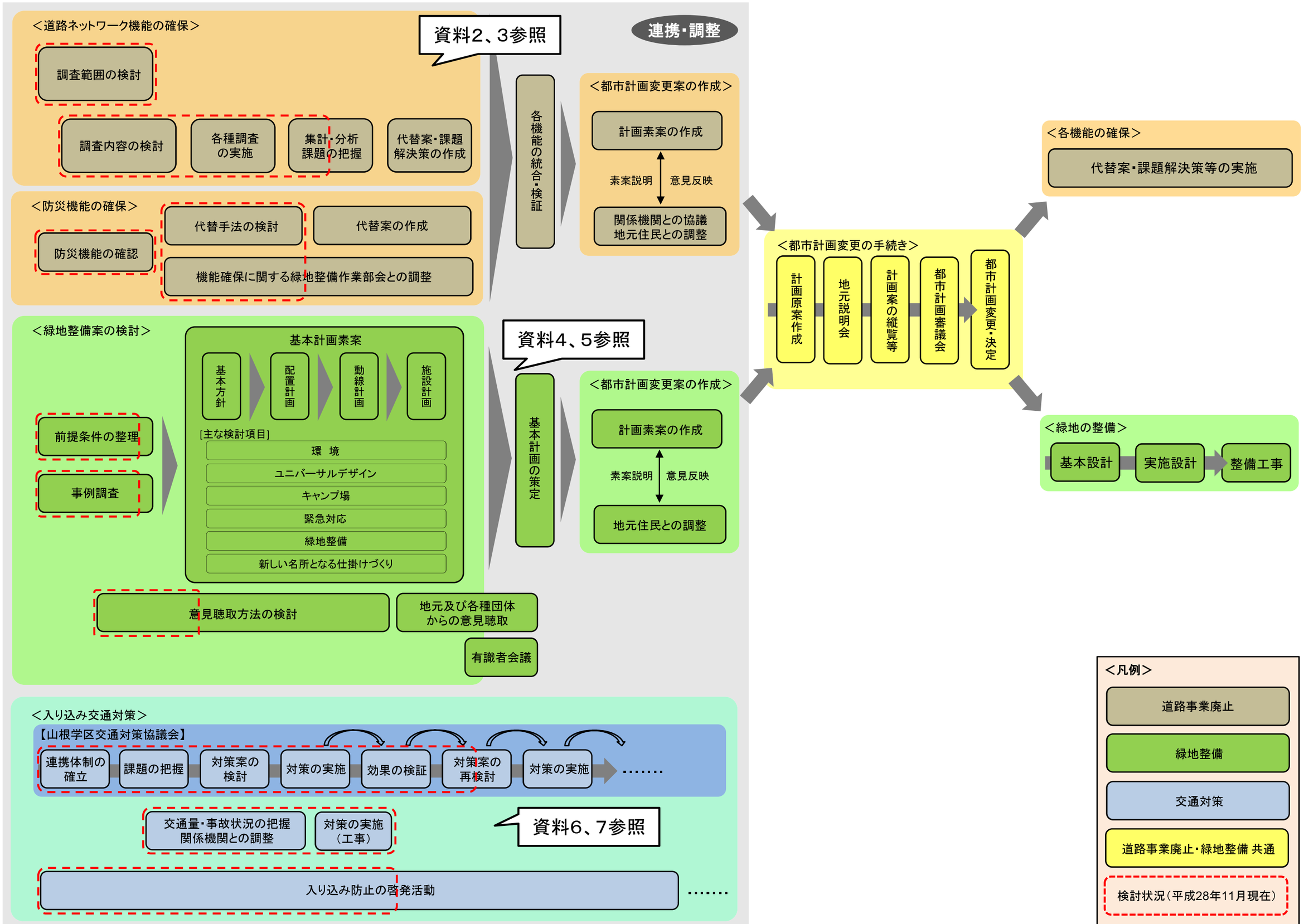
２　来年度予算について

３　要望・提案等について　【資料８】

４　その他
・次回の検討会議について

各作業部会の検討状況（平成28年11月現在）

資料１



資料2

道路事業廃止作業部会の検討状況（平成28年11月現在）

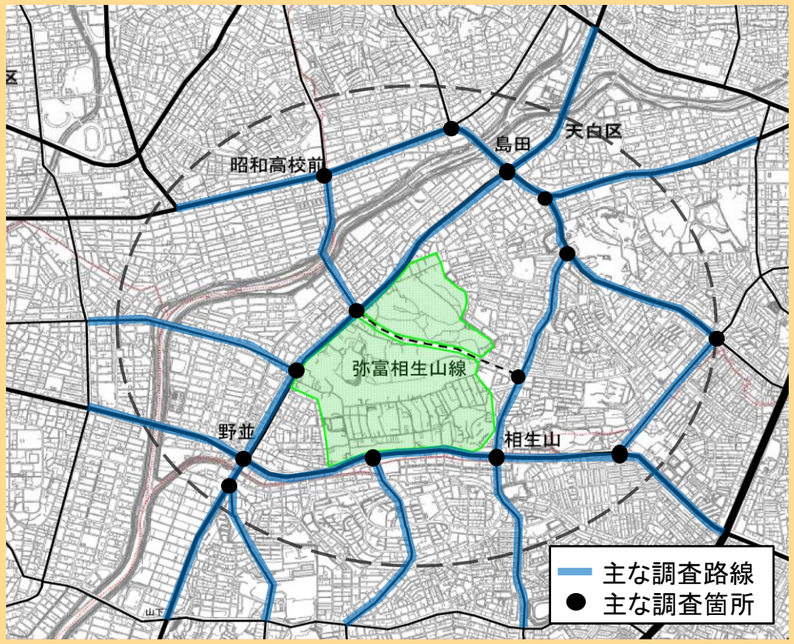
＜凡例＞

検討状況

実施する場合に、経費が必要と想定される項目

道路ネットワーク機能の確保

調査範囲の検討 → 調査内容の検討 →



各種調査の実施

［項　目］　（6月14日実施）

・交差点交通　・道路構造

・渋滞状況　・平均速度

↓

集計、分析と課題の把握

↓

代替案、課題解決策の作成

防災機能の確保

防災機能の確認 →

代替手法の検討 → 代替案の作成

機能確保に関する緑地整備作業部会との調整

→ 各機能の統合・検証

資料3

交通調査の結果について（課題が確認された箇所）

弥富相生山線の都市計画の廃止に向けて、６月１４日に各種交通調査を実施した。今後確認された課題を解決するための方策を検討していく。

項　　目	内　　容	箇所数	把握する交通課題
交差点交通	・方向別、車種別に、自動車、歩行者等の交通量を観測	２３箇所	交差点の混雑状況
渋滞状況	・７時～９時及び１７時～１９時の渋滞状況を調査	１６箇所	交差点の渋滞状況
道路構造	・直線部の車線や路側帯の幅を調査	２７箇所	交差点間で速度低下を招く箇所
平均速度	・実車走行し、所用時間を計測	１０ルート（２６ｋｍ）	

島田交差点

混雑が発生している。

島田交差点を先頭とする朝の西行きの渋滞は、島田３、島田東交差点を超える長さで発生している。

島田交差点を中心に、渋滞が関連する島田３、島田東交差点と、混雑している新島田橋西交差点を含めた範囲で対策を検討する必要がある。

野並交差点

部分的に混雑が発生している。

野並交差点を先頭とする北行きの渋滞は、古鳴海交差点を超える長さで発生している。

野並交差点を中心に、渋滞が関連する古鳴海交差点も含めた範囲で対策を検討する必要がある。

その他の交差点

渋滞や速度低下が確認された交差点では、今後現地を確認し、小規模な対策を行うことも含め検討を進める。

資料４

緑地整備作業部会の検討状況（平成２８年１１月現在）

＜緑地整備案の検討＞

前提条件の整理

- ○相生山緑地の位置、敷地形状
- ○行政目標の中の位置付け
- ○相生山緑地周辺の土地利用の歴史的経緯
- ○相生山緑地内にある歴史文化的資産等
- ○道路部分の活用
- ○相生山緑地の自然環境（地形・地質、植物、動物）
- ○相生山緑地を取り巻く環境
  （人口、公園緑地の配置、交通網、土地利用）
- ○用途地域等の都市計画条件

事例調査

- ○自然環境を保全・活用した公園
- ○障がい者のリハビリや活動の場
- ○キャンプ場
- ○建設済みの道路部分の活用に参考となる事例

基本計画素案の作成

基本方針 ― 配置計画 ― 動線計画 ― 施設計画

【主な検討項目】

- 【環境】生態系への影響評価、湧水地点の保全検討、土壌汚染リスクへの対応
- 【ユニバーサルデザイン】アクセス・バリアフリー化の検討、「リハビリや活動の場」の内容検討、意見聴取
- 【キャンプ場】アクセスの検討、キャンプ場施設の検討、安全確保の検討
- 【緊急対応】緊急車両通行の検討、火災予防対策の検討、災害対策の整理、傷病者対応の検討
- 【緑地整備】緑地全体計画の検討、道路部分の活用検討、供用区域との整合検討、整備プログラムとの整合検討
- 【新しい名所となる仕掛けづくり】ｾｰﾙｽﾎﾟｲﾝﾄ･ﾀｰｹﾞｯﾄの設定、PRの検討、インフラ整備の検討、住民との連携

基本計画の策定

意見聴取方法の検討

地元および各種団体からの意見聴取

有識者会議

＜凡例＞

- 検討状況
- 実施する場合に経費が必要と想定される項目

資料５

事例調査について

市長表明	事例調査の分類	事例調査の項目
名古屋の新しい名所となる公園として整備	○自然環境を保全・活用した公園	・ホタル、オオタカの生息に配慮した公園の事例 ・湧水の保全に配慮した公園緑地の事例　等
障害者のリハビリや活動の場	○障害者のリハビリや活動の場	・障害者を対象としたツリークライミングの事例（表下体験会報告参照） ・「ユニバーサルデザイン」を積極的に取り入れた公園の事例 ・樹林地を基本とした公園におけるバリアフリーの事例　等
子どものキャンプ場	○キャンプ場	・都市公園内のデイキャンプ場の設置の事例　等
建設済みの道路部分は壊すことなく、公園施設として活用	○建設済みの道路部分の活用に参考となる事例	・道路や高架鉄道等廃線跡地を公園化した事例 ・道路施設を公園施設等、他の用途に変更した事例　等

【ツリークライミングの体験会】

●日　時　平成 28 年 10 月 29 日（土）10 時～15 時
●場　所　名城公園北園（北区）
●参加者　障害のある方と保護者（１８名）

実施状況（全景）

車いす利用者への実施状況

記念撮影

意見聴取方法について

意見聴取方法		概要
アンケート	市政アンケート	[名古屋市] ・住民基本台帳から無作為抽出された２千人が回答するもの ・回答率　約５０％（約 1,000 人） ・2～3 テーマ/回で年５回程度実施
	ネット･モニターアンケート	[名古屋市] ・５００人の市民モニターを公募しインターネットを活用して調査するもの ・回答率　約９０％（約 450 人） ・年１０回程度実施
国内の事例	ワークショップ	・目標や課題を設定し、学習しながら取り組む市民参加体験型のプログラム
	意見･アイデア等の募集	・郵便物やＥメールなどにより市民の意見やアイデアを募集する
	住民説明会・公聴会	・事業のある段階で実施し、事業の説明等を行うとともに市民から意見の聴取を行う
	ダイナミックデザインプロセス	・整備前、市民に実験的に試行していただくことで課題を見つけ、それを計画に反映させていく、あるいは利用者と情報を共有しながら一緒に物づくりを進めていくという手法
海外の事例	コンセンサス会議	[デンマーク] ・無作為抽出により選ばれた 15 名の市民が、専門家と数日かけてじっくりと話し合い、合意形成を図ったうえで市民提案としてまとめる
	ネイバーフッド・アソシエーション	[米国ポートランド市] ・地区単位の計画を行政と協働で立案するため、市民で構成された中間的な組織（ネイバーフッド）が条例で位置付けられている ・地域の課題を解決する場合にこの仕組み（ネイバーフッド・アソシエーション）が活用されている
	市民参加型予算	[米国ボストン市] ・予算を市民側に認め、そこに住む住民がその予算を用いて専門家を雇用し、公共事業の方針や計画案を作成するとともに、行政に意見を伝える
	プラーヌンクスツェレ	[ドイツ] ・住民台帳から無作為抽出された市民が有償で環境問題などの課題を討議し、具体的な提言をまとめていく ・原則 25 人で構成 ・東京都三鷹市での類似事例あり

交通対策作業部会の検討状況（平成28年11月現在）

資料6

対策ステップ

ステップ1　地元との連携体制をつくる

○ 連携の体制（協議会等）について検討します

○ 協議会員以外の地元の方の意見を反映する方法を検討します

ステップ2　課題を知る

○ 地区の道路で、問題や不安に感じていることや場所について意見を出し合います

○ これまでの調査結果と併せて、課題を具体的に整理し、共有化します

ステップ3　対策案を考える

○ 対策を行う場所と手法を検討し、対策を決定します

ステップ4　対策を実施する

○ 対策前の交通状況調査を行います　平成28年6月実施

○ 対策工事を実施します　平成28年8月完了

ステップ5　対策の効果を検証する

○ 対策後の交通状況調査を行います　平成28年9月実施

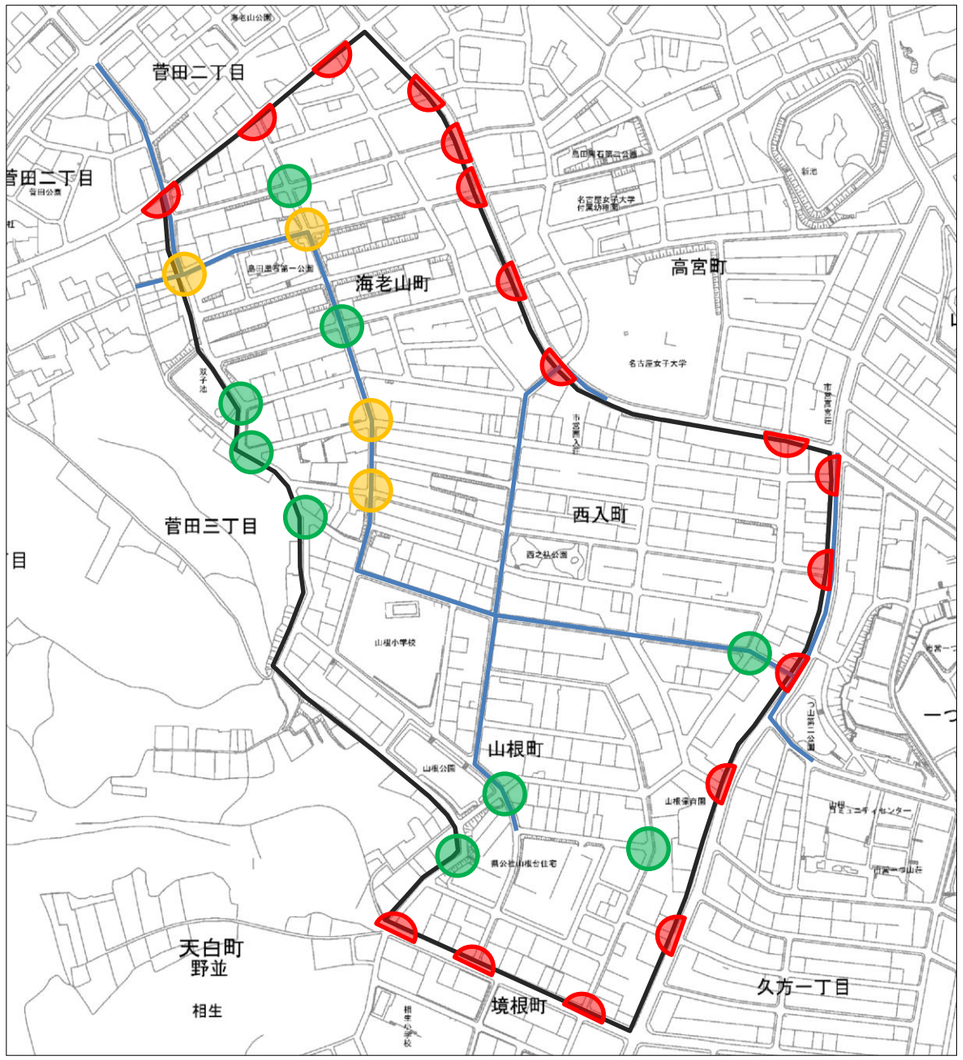
○ 集計、分析して課題の把握及び検証を行います

＜凡例＞

検討状況

実施する場合に、経費が必要と想定される項目

平成28年度　対策の実施内容・箇所



＜凡例＞

対策及び検証範囲　通学路

対策範囲入口の明確化（17か所）

交差点付近の明確化（区画線）（9か所）

交差点の明確化（カラー化）（4か所）

資料7

交通対策の効果検証について

1.　調査概要

（１）目的

弥富相生山線の近隣地区に出入りする車両について、対策工事前後で通り抜け台数と経路、車両の一旦停止状況を調査、比較し、今後の取り組み方針を決定する。

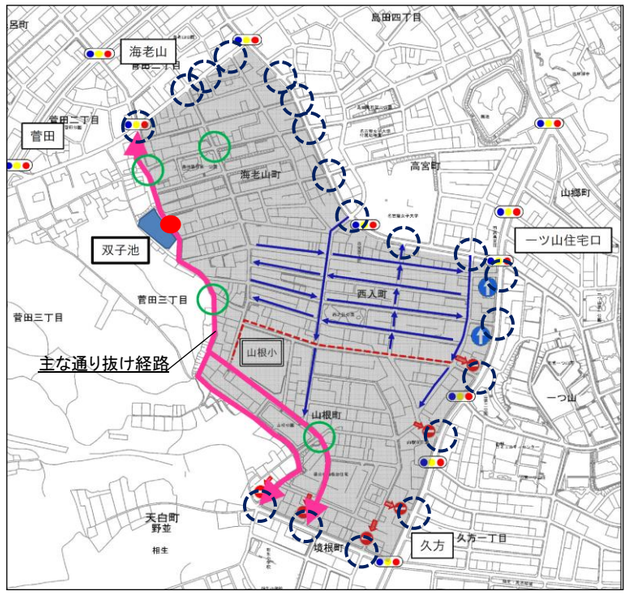
（２）調査日

事前調査　６月１４日
事後調査　９月１６日
（朝７～９時、夕５～７時の各２時間）

（３）主な調査内容

ナンバープレート調査（　）
車両一旦停止状況調査（　）
双子池前の交通量調査（　）＊朝７～夕７時

（４）調査箇所



2.　平成28年度 入り込み交通対策の工事内容

（１）対策範囲入口の明確化（カラー化）　１７か所

（２）交差点の明確化（カラー化）　４か所

（３）交差点付近の明確化（区画線）　９か所

3.　対策工事前後での状況の変化

（１）進入禁止を違反した車両台数

６６台 ⇒　５６台（１５％減）

（２）一旦停止を守った車両台数

３２１台 ⇒　４９６台（５５％増）

（３）双子池前の交通量

１，３７０台 ⇒ １，３８５台

（４）通り抜け台数

５６５台 ⇒　５２３台

4.　今後の進め方

平成２８年度に実施した入り込み交通対策により、交通ルールを守る車両は増え安全性は高まったが、交通量はあまり変化が見られなかった。

今後は、山根学区交通対策協議会にて入り込み車両の速度抑制対策を検討し、歩行者や自転車の安全性の向上と、入り込み車両を減らす効果を期待する。

資料8

要望・提案等について （平成28年3月1日～平成28年10月31日）

件　　名	要 望 ・ 提 案 等 を さ れ た 方	受 理 日
＜平成 28 年陳情第 6 号＞ 市道弥富相生山線の道路事業の廃止に関する件	相生山の自然を守る会　代表　近藤国夫	H28.3.16
＜平成 28 年陳情第 7 号＞ 相生山緑地を市民とともにつくるシステムを求める件	相生山緑地を考える市民の会　共同代表　可知正孝	H28.3.16
＜平成 28 年陳情第 11 号＞ 市道弥富相生山線の道路事業の廃止の手続きを速やかに行うことを求める件	遠藤隆一	H28.3.16
第40回　健康と環境を守れ！愛知の住民いっせい行動	「健康と環境を守れ！愛知の住民いっせい行動」実行委員会　会長　野呂汎 道路公害反対愛知県民会議　代表委員　大川浩正、篠原正之 相生山の自然を守る会　代表　近藤国夫 相生山緑地を考える市民の会　共同代表　可知正孝、外波山節子、福井清	H28.4.14
要望書	相生山緑地を考える市民の会　共同代表　可知正孝、外波山節子、福井清	H28.6.21
＜平成 28 年陳情第 15 号＞ 市道弥富相生山線の道路事業の廃止のために、都市計画変更を速やかに行うことを求める件	木村みよ	H28.6.27
＜平成 28 年陳情第 16 号＞ 相生山緑地を起点とする緑のネットワークを視点にして、市道弥富相生山線の道路事業の廃止手続を早急に市民とともに進めることを求める件	相生山緑地を考える市民の会　共同代表　可知正孝	H28.6.27
＜平成 28 年陳情第 17 号＞ 都市計画審議会において、速やかに市道弥富相生山線の道路事業の廃止を決定することを求める件	相生山の自然を守る会　代表　近藤国夫	H28.6.27
平成２８年度　天白区を住みよくする会　要望事項	天白区を住みよくする会	H28.8.17
「世界の AIOIYAMA」緑地公園実現のための提案書	相生山の四季を歩く会事務局　田中眞理 ラブリーアース Japan 事務局　古川善嗣	H28.9.8